

珠玉の美人画―その誕生の軌跡

上村松園展

※期間中、展示替えがあります。



主催：広島県立美術館、中国新聞社、中国放送、日本経済新聞社
後援：広島市、広島市教育委員会、NHK広島放送局、
広島テレビ、広島ホームテレビ、テレビ新広島、
広島エフエム放送、ひろしま放送局
特別協力：松竹美術館
協力：広島電鉄株式会社

特別展「上村松園―その誕生の軌跡」

東京藝術大学大学美術館

平成二五(二〇一三年)九月九日〔火〕～一〇月一九日〔日〕

◎前期：九月九日〔火〕～九月二十八日〔日〕

◎後期：九月三十日〔火〕～一〇月一九日〔日〕

休館日：毎週月曜（ただし九月五日、一〇月二日は開館）
開館時間：九時～一七時（土曜日は一七時まで）（入館は開館の三〇分前まで）（※九月九日は一〇時開場）



広島県立美術館

広島市中区上蔵町二丁目二番二
TEL 〇九二二二二 五二四五 FAX 〇九二二二二 四四四四

〔後〕昭和二年

上村松園展



全図開「花」明治43年 京都市立美術館蔵

気品に満ちた美人画を描き続け、源とした女性美を繊細な筆致で見事に表現した上村松園。近代日本美術史の中で極めて高い評価を受けているその清澄な絵画世界は、今日もなお作品としての強い生命力をそなえ、多くの人々に深い感銘を与えています。

松園は、明治八（一八七五）年、京都・四条に生まれました。幼少時から画技に秀で、京都府立学校に進学、やがて鈴木松年、幸野樗牛、竹内栖鳳に師事して天賦の才に磨きをかけていきます。同二三（一八九〇）年の第三回内閣勲業博覧会で（四季美人図）が一等賞状となるなど、早くより数々の展覧会で受賞を重ねました。失われつつある古き良き京の町の情趣とそこに暮らす女性の風俗をはじめ、浮世絵や能の世界を独自に解釈した佳品を次々と発表し、昭和二三（一九四八）年には女性として最初の文化勲章を受章しています。

平成一五（二〇〇三）年は、松園が家業の茶屋を閉め画家として完全に独立してからちょうど百年となります。この記念すべき年に開催する本展では、松園の初期から晩年にいたる作品約七〇点に下図や素描を加え、さらに実際に創作の現場で用いられた筆や印章など作品誕生の息吹を今に伝える貴重な資料も併せて展示することで、その芸術にかけた厳しい研鑽の足跡を展望します。



全図開「白雪姫」明治36年開



前期のみ展示「勧進帳」大正11年 松島美術館蔵



全図開「長夜」明治40年

※期間中、展示替えがあります

特別展示 9月9日（火）～9月21日（田）

重要文化財「序の舞」

昭和11年 東京藝術大学大学美術館蔵

「良宵之図」大正15年蔵 林原美術館蔵

前期のみ展示 9月9日（火）～9月28日（田）

「人生の花」明治32年 京都市美術館蔵

「雪吹美人図」明治44年 ウッドワン美術館蔵

「夕べ」昭和10年 山種美術館蔵

その他計12点

後期のみ展示 9月30日（火）～10月19日（田）

「四季美人図」明治25年 大松美術館蔵

「花がたみ」大正4年 松島美術館蔵

「静」昭和19年 東京国立近代美術館蔵

その他計13点

（下図・素描類の展示替えもあります）

講演会「上村松園展に寄せて」

講師：上村淳之（日本画家・松島美術館長）9月14日（日）午後2時30分より

場所：地蔵講堂（定員200名） 聴講無料

※往復はがきの往復函に住所・氏名を、返信面に返送先をご記入のうえ、

1週間前までにお申込みください。

ギャラリートーク

9月12日（金）、9月26日（金）、10月10日（金）

各回とも午前11時より

※担当学芸員が展示作品をわかりやすく解説します。

入館料

一般 1,000(800)円

高・大学生 600(400)円

小・中学生 400(200)円

前期・後期共通券 1,500円

※1：は前後期及び加付以上の団体
や前期・後期共通券は前売り・一般のみです。
※前売り券は広島市の主なプレイガイド・画廊・美術店などで販売しています。



※1：は前後期及び加付以上の団体
や前期・後期共通券は前売り・一般のみです。
※前売り券は広島市の主なプレイガイド・画廊・美術店などで販売しています。

休館日：月曜日（祝日の場合は翌日休館） 広島市立美術館蔵

お問い合わせ先：広島市立美術館 広報課（広島市中区上本町2-2）

Tel.082-221-6216 Fax.082-223-1444

広島県立美術館
HIROSHIMA PREFECTURAL ART MUSEUM
ホームページ：http://www.hipara-art-museum.jp/



前期のみ展示「夕暮」昭和16年 京都府立鴨岡高等学校蔵



全図開「鴛鴦盤」昭和10年



全図開「雨」昭和14年